

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「グローバル・リート・セレクション」は、このたび、第181期の決算を行いました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンドを通じて、世界各国の取引所および取引所に準ずる市場で取引（上場等の前の新規募集または売出し、もしくは上場等の後の追加募集または売出しにかかるものを含みます。）されている不動産投資信託証券に分散投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求し、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第181期末(2020年3月16日)

基準価額	4,024円
純資産総額	2,408百万円
第176期～第181期	
騰落率	△21.5%
分配金(税引前)合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

グローバル・リート・セレクション

追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間：2019年9月18日～2020年3月16日

交付運用報告書

第176期(決算日 2019年10月15日) 第179期(決算日 2020年1月15日)

第177期(決算日 2019年11月15日) 第180期(決算日 2020年2月17日)

第178期(決算日 2019年12月16日) 第181期(決算日 2020年3月16日)



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

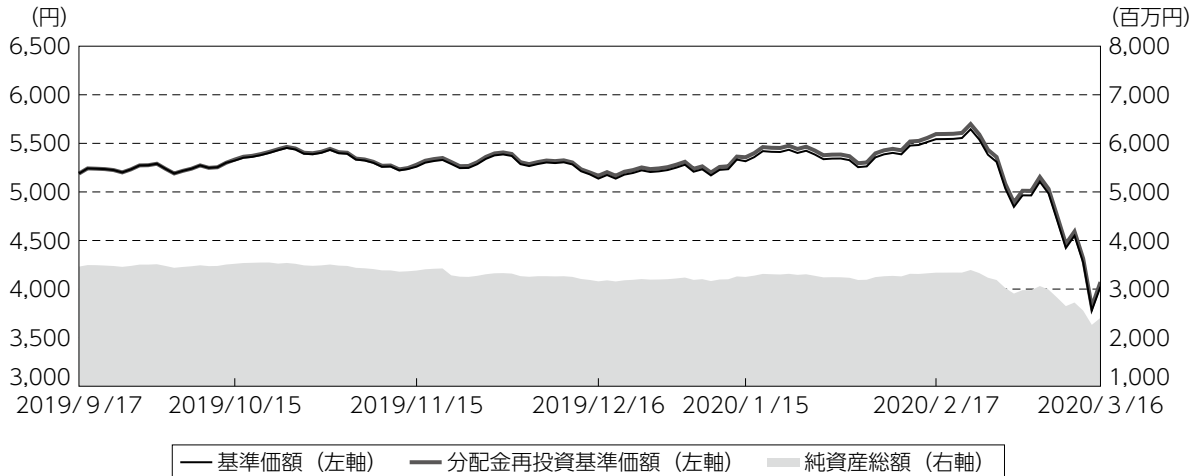
[ホームページ]
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年9月18日～2020年3月16日)



第176期首： 5,189円

第181期末： 4,024円 (既払分配金 (税引前) : 60円)

騰 落 率：△21.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2019年9月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

○北米リート・マザーファンド

・米国のアメリカン・タワーやクラウン・キャッスル・インターナショナルなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・シンガポールのメープルツリー・ロジスティクス・トラストが上昇したことがプラス寄与となりました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

・英国のダウエント・ロンドンやグレイト・ポートランド・エステイツなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

(主なマイナス要因)

○北米リート・マザーファンド

・米国のサイモン・プロパティーズ・グループやウェルタワーなどが下落したことがマイナスに影響しました。
 ・為替が対米ドルや対カナダドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・オーストラリアのセンターグループやビシニティ・センターズなどが下落したことがマイナスに影響しました。
 ・為替が対オーストラリアドルや対シンガポールドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

・フランスのユニペイル・ロダムコ・ウエストフィールドやクレピエールなどが下落したことがマイナスに影響しました。
 ・為替が対ユーロや対イギリスポンドで円高となったことがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2019年9月18日～2020年3月16日)

項 目	第176期～第181期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	43 (26) (14) (3)	0.816 (0.490) (0.272) (0.054)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.033 (0.033)	(b)売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.003 (0.003)	(c)有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (2) (0) (0)	0.048 (0.041) (0.006) (0.000)	(d)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	48	0.900	
作成期間中の平均基準価額は、5,289円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

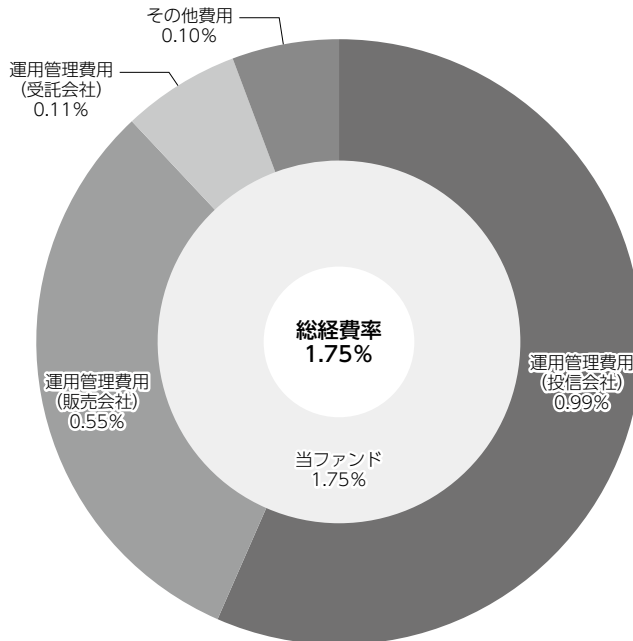
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

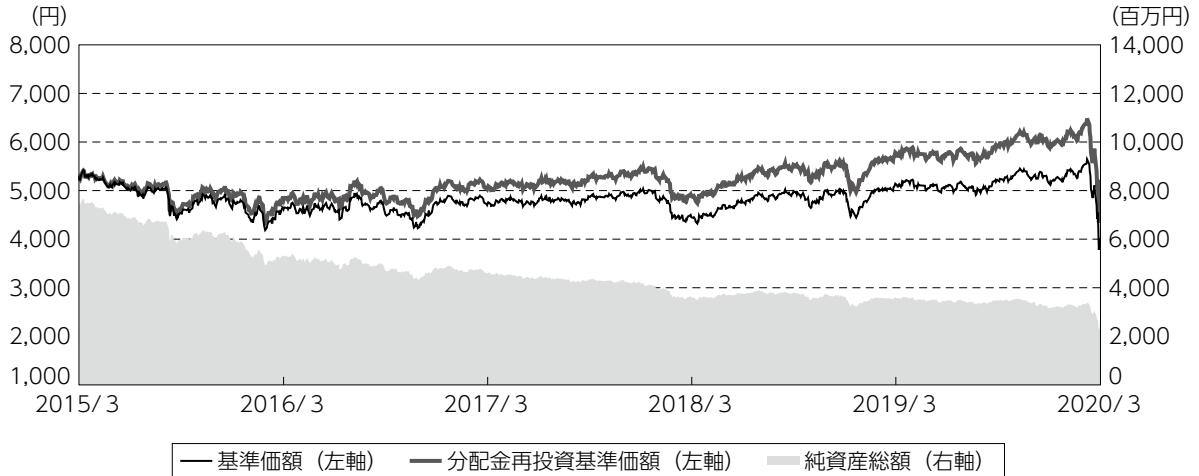
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年3月16日～2020年3月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年3月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年3月16日 期初	2016年3月15日 決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日
基準価額 (円)	5,219	4,641	4,701	4,457	5,143	4,024
期間分配金合計(税引前) (円)	—	200	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△7.3	3.9	△2.8	18.3	△19.9
FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Index騰落率 (%)	—	2.9	6.0	2.5	18.4	△2.8
S&P/ASX 200 A-REIT Index騰落率 (%)	—	2.1	△1.2	△0.8	17.2	△11.2
FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index騰落率 (%)	—	△6.1	△6.0	5.9	5.3	△16.6
純資産総額 (百万円)	7,406	5,315	4,579	3,609	3,598	2,408

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

(2019年9月18日～2020年3月16日)

米国のリート市場は、利下げ観測が強まり上昇する場面もあったものの、米中通商協議の進展期待などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退し、リートからよりリスクの高い資産とされる株式に投資資金を移す動きが広がったことなどから、2019年12月中旬にかけて弱含む展開となりました。しかしその後は、金融当局が当面は緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したことや、主要リーートの好決算などが支援材料となり、上値を試す展開となりました。2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、株式市場が大幅に下落したことを受けて、リート市場でも投資家心理が悪化し、急落する展開となりました。

オーストラリアのリート市場は、米中貿易摩擦や消費関連指標の悪化などを受けて、景気の先行き不透明感が強まる一方、追加利下げによる景気下支えへの期待が高まるなど、方向感に欠ける展開となりました。2019年12月に入ると、長期金利の上昇などが悪材料となり下落しましたが、2020年1月に入ってから、米中政府が通商協議の第1段階の合意文書に署名したことなどを受けて、貿易摩擦による景気の不透明感が後退し、反発する展開となりました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染が世界各地に広がったことなどを受けて、資源価格の下落や旅行客の減少などによる経済に及ぼす悪影響への懸念が強まり、下値を探る展開となりました。

ヨーロッパのリート市場は、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が和らいだことや、欧州中央銀行（ECB）理事会メンバーが、緩和的な金融政策の継続を示唆したことなどから、低金利環境下において、リーートの良好な事業環境が継続するとの見方が広がり、上値を試す展開となりました。しかし、2020年2月下旬以降は、イタリアで新型コロナウイルスの感染者数が急増したことを受けて、世界的な感染拡大への警戒感が強まったことや、欧州の景気減速が意識されたことなどから、投資家心理が悪化し下落しました。3月上旬には、イングランド銀行（英中央銀行、BOE）やECBによる金融措置への期待から反発する場面がありましたが、トランプ米大統領が英国を除く欧州からの入国を30日間停止すると発言したことを受けて、欧州の景気低迷への懸念が強まり、再び下落基調を辿る展開となりました。

(2019年9月18日～2020年3月16日)

当ファンドのポートフォリオ**<グローバル・リート・セレクション>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の各受益証券の組入比率は、合計で概ね90%以上で推移させました。

○北米リート・マザーファンド

リーートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、資金の流出入に合わせて国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

米国のベリートやトーブマン・センターズなどを全て売却した一方、米国のWPキャリーやハイウツド・プロパティーズなどを新規に買い付けました。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

リーートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

オセアニア地域、アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

オーストラリアのデクサスやニュージーランドのクウィ・プロパティ・グループなどを一部売却しました。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

リーートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

ヨーロッパ各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

オランダのユーロコマース・プロパティーズや英国のイントゥ・プロパティーズなどを全て売却した一方、ベルギーのエディフィカなどを新規に買い付けました。

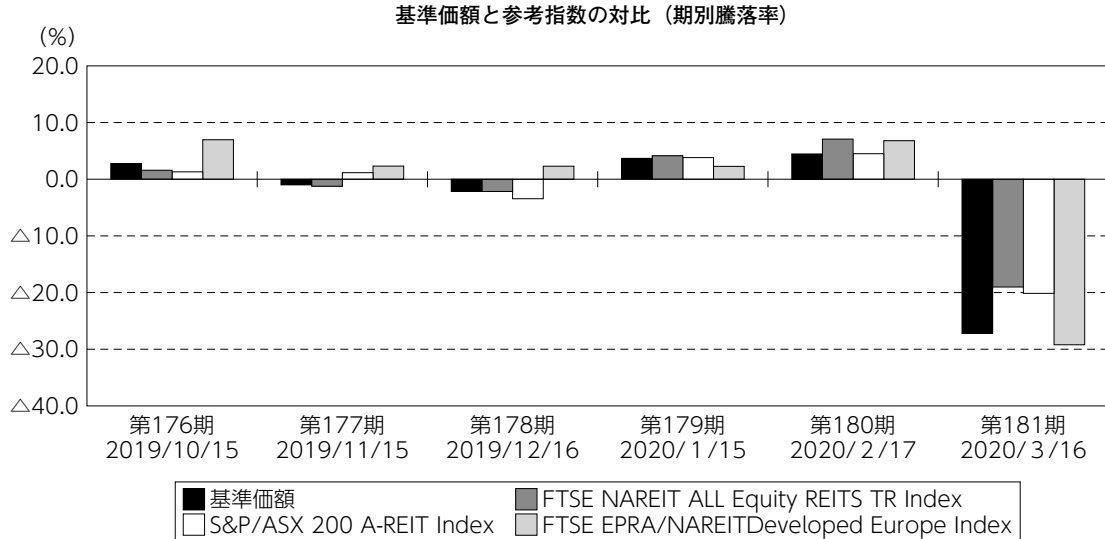
(為替)

組入外貨建資産につきましては、当ファンドおよび「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」とも、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年9月18日～2020年3月16日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index です。

分配金

(2019年9月18日～2020年3月16日)

当作成期間におきましては、主に配当等収益を原資として、第176期から第181期の決算期に、それぞれ1万口当たり10円 (税引前)、合計60円 (税引前) の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期	第181期
	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.188%	10 0.190%	10 0.194%	10 0.188%	10 0.180%	10 0.248%
当期の収益	10	9	0	10	10	9
当期の収益以外	—	0	9	—	—	0
翌期繰越分配対象額	284	284	275	285	288	288

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国のリート市場は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念から、当面は不安定な値動きになると考えられます。しかしその後は、政策への期待に加え、リーートの業績の安定性や利回り面での投資魅力が相場を下支えする要因となり、底打ちを窺う展開になると予想されます。リートは主に保有不動産の中長期にわたる契約に基づく安定的な賃料が収入源であり、ホテルや小売り系リートなどの一部を除き、感染拡大の影響を受けにくいと考えられます。また、金融当局が金融緩和に前向きな姿勢を示しているほか、財政出動を伴う政府の新型コロナウイルスへの対策が本格的に進むと見込まれ、金融・財政政策による景気下支えや、感染拡大鈍化への期待が高まると考えられます。こうした中、債券利回りの低下によって、利回り面でのリーートの投資魅力が高まっており、リート市場への資金流入が期待されます。

オーストラリアのリート市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を巡る先行き不透明感から、短期的には神経質な値動きが想定されます。しかし、金融・財政政策への期待やリーートの底堅い業績推移を背景に底値を固める展開になると予想します。オーストラリア準備銀行（中央銀行、RBA）は、3月の理事会で利下げを決定したほか、追加の金融緩和を行う用意があることを表明しました。また、豪首相は財政刺激策の必要性に言及しており、金融・財政政策の出動による景気の下支えへの期待が投資家心理の改善につながると考えられます。また、シドニーでは、大型オフィスビルの完成が相次ぐ見通しですが、堅調な需要を受けて概ね入居するテナント企業が確定しており、メルボルンなど他の主要都市と同様に、良好な需給環境を背景に賃料の上昇基調が続くと見込まれます。そのため、オフィスビルに投資するリートを中心にリーートの業績は、底堅く推移すると予想されます。

ヨーロッパのリート市場は、欧州における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、欧州経済の減速懸念が強まっており、当面は不安定な相場展開が予想されます。特に、Eコマースの普及も相まって、商業施設は苦戦を強いられており、入居テナントの業績悪化を通じた賃料収入の低迷への懸念が商業施設に投資するリーートの価格圧迫要因になると見えています。ただ、期待インフレが低下する中、ECBは金融緩和姿勢を維持すると見られ、良好な資金調達環境がリーートの業績を下支えすると考えられます。

(運用方針)**<グローバル・リート・セレクション>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

なお、今後の各マザーファンドへの投資割合は、以下のとおりにする予定ですが、投資環境の変化に応じて、投資割合を見直してまいります。

北米リート・マザーファンド	70.0%程度
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	19.0%程度
ヨーロッパリート・マザーファンド	11.0%程度

○北米リート・マザーファンド

外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しており、北米のリート等の運用は同社が行っています。同社では四半期ごとに戦略投資委員会を開催し、長期的な見通しに基づき北米各国の投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

外貨建資産および不動産投資信託証券の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しDWS インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

○ヨーロッパリート・マザーファンド

外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しDWS オルタナティブズ・グローバル・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

お知らせ

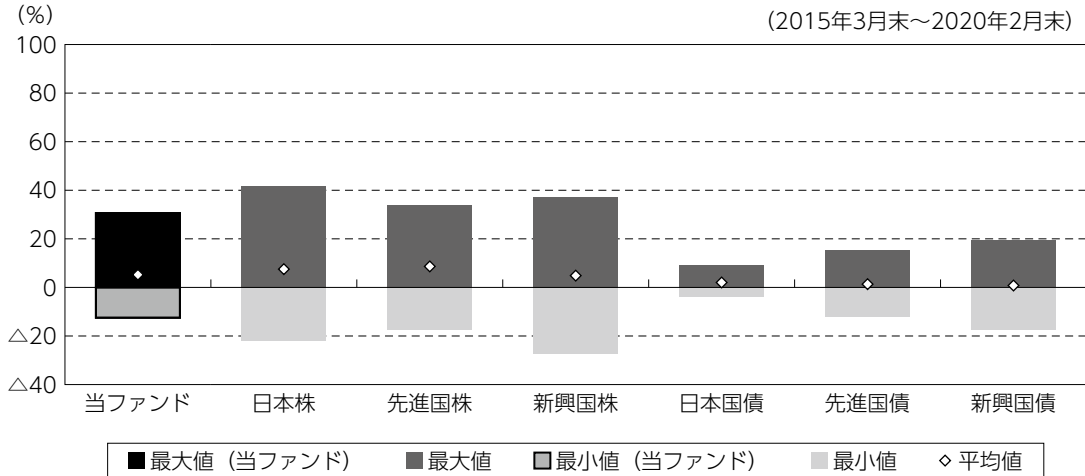
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2005年1月27日から原則として無期限です。	
運用方針	北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンド（以下、マザーファンドといたします。）を通じて、世界各国の取引所および取引所に準ずる市場で取引（上場等の前の新規募集または売出し、もしくは上場等の後の追加募集または売出しにかかるものを含みます。）されている不動産投資信託証券に分散投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求し、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	各マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに不動産投資信託証券および外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用の指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。収益分配は主として配当等収益等から行います。ただし、6月と12月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.6	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△12.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	5.2	7.5	8.6	4.9	2.0	1.3	0.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年3月から2020年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年3月16日現在)

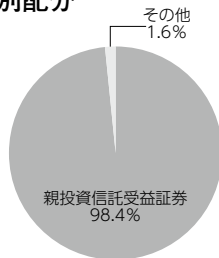
○組入上位ファンド

銘柄名	第181期末
北米リート・マザーファンド	69.5%
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	18.4%
ヨーロッパリート・マザーファンド	10.5%
組入銘柄数	3銘柄

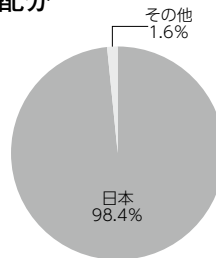
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

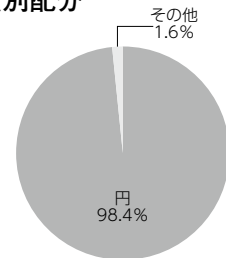
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

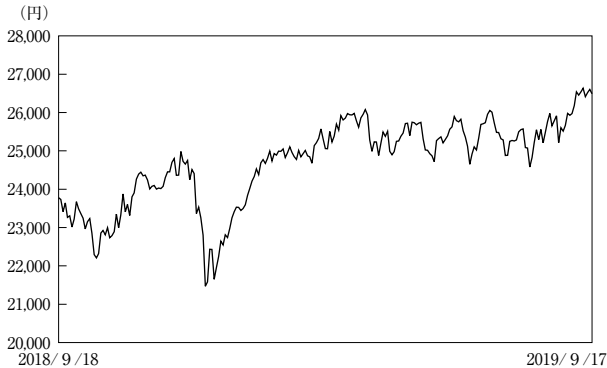
項目	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末	第181期末
	2019年10月15日	2019年11月15日	2019年12月16日	2020年1月15日	2020年2月17日	2020年3月16日
純資産総額	3,520,420,060円	3,381,200,097円	3,159,137,524円	3,250,289,408円	3,337,935,941円	2,408,666,456円
受益権総口数	6,613,877,250口	6,428,254,014口	6,150,082,833口	6,114,049,225口	6,022,163,967口	5,985,521,704口
1万口当たり基準価額	5,323円	5,260円	5,137円	5,316円	5,543円	4,024円

(注) 当作成期間(第176期～第181期)中における追加設定元本額は10,454,519円、同解約元本額は696,871,832円です。

組入上位ファンドの概要

北米リート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月19日～2019年9月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	25 (25)	0.101 (0.101)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	16 (14) (2)	0.066 (0.058) (0.008)
合計	42	0.170

期中の平均基準価額は、24,654円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

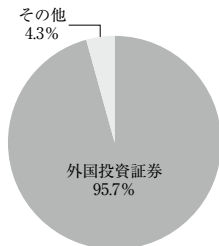
【組入上位10銘柄】

(2019年9月17日現在)

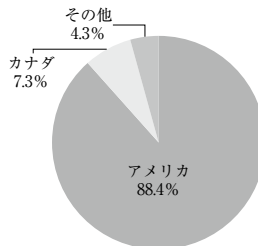
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
2 WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.7%
3 HCP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.7%
4 VENTAS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	7.2%
5 VEREIT INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.7%
6 OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	投資証券	米ドル	アメリカ	4.6%
7 MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.4%
8 KIMCO REALTY CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	4.4%
9 TAUBMAN CENTERS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	3.5%
10 BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	3.0%
組入銘柄数	41銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

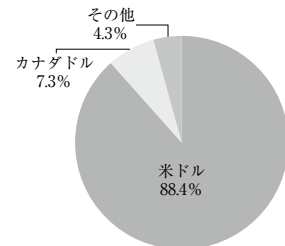
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



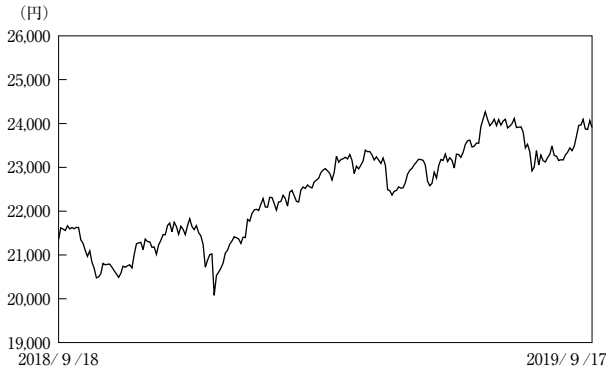
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月19日～2019年9月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	3 (3)	0.011 (0.011)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	18 (17) (0)	0.078 (0.077) (0.002)
合計	22	0.094

期中の平均基準価額は、22,415円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

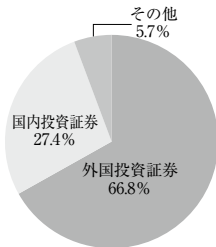
【組入上位10銘柄】

(2019年9月17日現在)

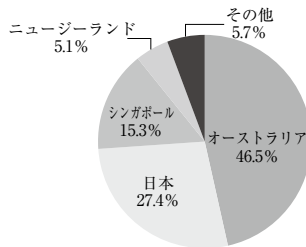
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MIRVAC GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.3%
2 GPT GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.2%
3 STOCKLAND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9%
4 DEXUS	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.9%
5 プレミア投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	6.6%
6 日本賃貸住宅投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	6.1%
7 VICINITY CENTRES	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.0%
8 SCENTRE GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.0%
9 アクティビア・プロパティーズ投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.7%
10 KIWI PROPERTY GROUP LTD	投資証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	5.1%
組入銘柄数			23銘柄	

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

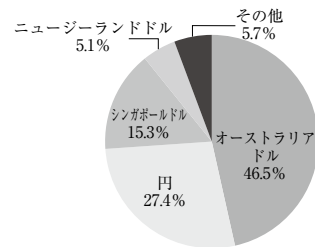
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



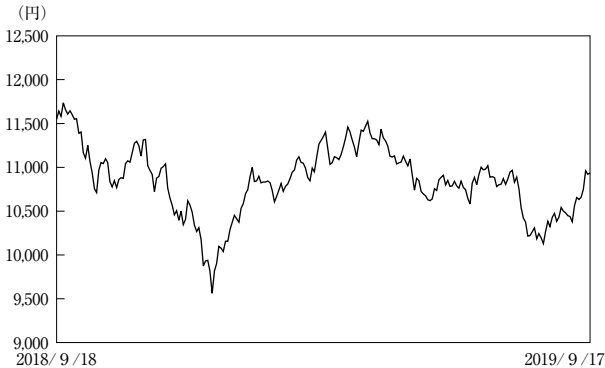
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

ヨーロッパリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月19日～2019年9月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	2 (2)	0.021 (0.021)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	7 (7)	0.069 (0.069)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)	0.087 (0.086) (0.001)
合計	18	0.177

期中の平均基準価額は、10,828円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

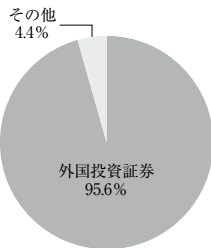
【組入上位10銘柄】

(2019年9月17日現在)

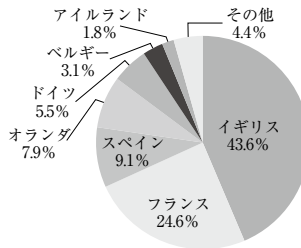
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 SEGRO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	8.7%
2 UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	投資証券	ユーロ	フランス	8.3%
3 GECINA SA	投資証券	ユーロ	フランス	8.3%
4 KLEPIERRE	投資証券	ユーロ	フランス	8.0%
5 NSI NV	投資証券	ユーロ	オランダ	5.7%
6 UNITE GROUP PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	5.7%
7 ALSTRIA OFFICE REIT-AG	投資証券	ユーロ	ドイツ	5.5%
8 MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	投資証券	ユーロ	スペイン	5.1%
9 ASSURA PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	5.0%
10 BRITISH LAND CO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	4.7%
組入銘柄数		21銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

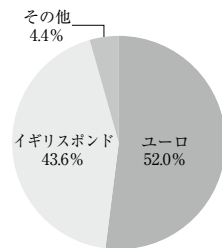
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE NAREIT ALL Equity REITS TR Indexは、FTSE Groupが発表する米国リートの代表的な指数です。配当を考慮したトータルリターン・ベースで、1971年12月31日を100として算出しています。S&P/ASX 200 A-REIT Indexは、オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成されるASX200のうち、不動産関連証券で構成される指数です。FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは、FTSE Groupが算出する指数で、売買高の大きいヨーロッパの不動産関連証券によって構成されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。